

2022 北斗旗全日本空道体力別選手権大会・2022 全日本空道シニア選抜選手権大会 における新型コロナウイルス感染防止対策について

記

5月29日の掲題大会は、開催地(東京都)からの中止要請がない限り、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、予定通りに開催します。開催施設の国立代々木競技場第二体育館とは、開催する方向で連絡をとりあっています。

東京都はゴールデンウィークの新型コロナウイルス感染症の感染再拡大に備え「令和4年4月25日(月曜日)0時から5月22日(日曜日)24時まで期間リバウンド警戒期間における取組(令和4年4月21日)」を公表しています。

参照：https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/_res/projects/default_project/_page/001/021/406/20220119/20220421.pdf

また会場(国立代々木競技場第二体育館)は「新型コロナウイルス感染防止対策」を実行しての施設使用を許可しています。施設の対策として「国立競技場等(国立競技場、秩父宮ラグビー場、国立代々木競技場)における新型コロナウイルス感染予防対策について」をHPに掲示しています。

参照：<https://www.jpnsport.go.jp/yoyogi/LinkClick.aspx?fileticket=WqKUx0Izr7k%3d&tabid=36&mid=1036>

施設利用者への要望としてHPに掲示した「ご利用者(イベント主催者等)への協力依頼」も参考に、連盟安全対策委員会からの提言および開催地である東京都および会場の国立代々木競技場第二体育館の発信を踏まえて、以下のとおり通知します。

【感染防止対策について】

2022 全日本空道ジュニア選手権大会の際の通知(空道連盟通知 2022_05_01)から**変更箇所を赤字表示**

※：以下文中のマスクは全て不織布マスクを指す。

1. 選手出場団体・組織の責任者(支部長等)へのお願い

開催地の自治体・医療機関・従事者に負担を掛けないためにも、現在の連盟ガイドライン(コロナ禍におけるイベント開催時の感染防止対策ガイドライン)の厳守を前提としたうえで、練習中・移動中の感染対策を徹底するよう注意すること(現行通り)。また今後の感染状況によって、開催地の自治体の判断により急遽(最悪開催当日)開催中止となる場合があることを選手に周知すること。その上で、選手に対して以下の指導をお願いします。

- ① 大会までの期間、毎朝夕に検温し、健康観察を行うことを指導する。
- ② 大会当日まで選手・同行者・家族に発熱・咳・倦怠感など「感染したと疑わしい症状」があった場合、感染拡大防止のため出場を辞退するようお願いする。
- ③ 辞退する場合、すみやかに支部長・責任者に連絡するよう連絡網を整備し、辞退者が出た場合はその時点で主催者に報告する。

- ④ 安全上原則セコンド1名/選手とする。チームで複数の選手が出場し、A B両コートで試合が同時進行する場合も想定されるので、極力2名/チーム(支部・道場単位)とする。
- ⑤ 大会への出場以外の現地での活動(観光、支部/チーム別の反省会・懇親会など)は**原則禁止**とする。飲食店において複数名で会食する場合は、飲酒を控え**1グループ8名以内**とする。

参照: https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/021/406/20220119/20220421.pdf

上記にある東京都の要請により「同一グループの同一テーブルへの入店案内を8人以内(※)、滞在時間を2時間以内(※)とするよう協力を依頼 ※全員の陰性の検査結果を確認した場合は、人数、利用時間 の制限の対象外」を参考に**従来の4名を8名とする**。

- ⑥ 宿から大会会場への移動以外は、極力外出を控える。
- ⑦ 大会前に道場内で感染者が発生した場合は、大会前3日以内に実施したPCR検査または抗原検査による陰性証明を提出する。
- ⑧ 事前に大会事務局から選手が所属する支部長あてに抗原検査キットを送付する。同キットを使用して**5月27日**に行う選手自身による検査、もしくは大会当日、体温37.5度以上の選手を対象に行う大会事務局が用意した抗原検査キットによる抗原検査で陽性判定の場合は大会出場を禁止する。**5月27日の検査結果が陽性の場合のみ大会事務局に電話連絡する**。
- ⑨ **熱中症予防の観点から屋外で十分な距離(2m以上)がある場合はマスクを着用しなくともよいものとする。(施設協力依頼に大声での声援、会話等の抑制・マスク着用とあり施設内は原則着用とする)**

2. 選手・セコンド・付き添い者へのお願い

「地域・グループ・家族」など日常を共にする最小単位で行動し、他のグループとの交流を極力を避けて感染拡大防止に留意した行動をとる。

- ① 移動中(公共交通機関利用時)も飛沫感染防止(感染させない、感染しない)のためマスク着用を推奨する。また感染防止のためこまめな手洗い・アルコール消毒を心掛ける。
- ② 移動中・宿泊中の食事(会食)などにおいては、他のグループとの交流を控える。
- ③ マスクを外した状態での会話は行わない。
- ④ マスクを外す飲食の場面では特に注意し、三密にならないよう十分な距離を確保する。
- ⑤ 飲食店において複数名で会食する場合は、飲酒は控える。また**1グループ8名以内**とする。
- ⑥ 特に「緊急事態宣言」「まん延防止措置」などの対象地域に居住または就労・就学している者は、現地滞在時間を極力短縮する。
- ⑦ 会場での飲食は選手を除き禁止とする。選手が栄養補給のために飲食する場合は最小単位(8人以内を目安)で行い、飲食以外はマスクを着用する。また必要な飲料・栄養補給については各自事前に購入・準備する。
- ⑧ 会場に持ち込んだモノ(タオル、絆創膏、湿布薬、マスクなど)は持ち帰って処分する。
- ⑨ セコンドは1名/**選手**とする。
- ⑩ 観客、セコンド、応援は極力チーム(支部・道場単位・**8人程度**)の最少単位に分かれて行動する。拍手などによる応援を行い、声援や指示などで大声を出さない。
- ⑪ 入館時に連盟が定めた感染防止対策チェックリストを提出するとともに、要望事項・注意事項を

遵守する。

- ⑫ 大会前に道場内で感染者が発生した場合は、大会前3日以内に実施したPCR検査または抗原検査による陰性証明を提出する。
- ⑬ 大会時の感染の可能性を最小化するため、選手とセコンド・指導者がミット練習やスパーリングなどの練習を行う際は、マスクを着用するとともに、短時間で切り上げる。また組技や寝技の練習は禁止する。
- ⑭ 大会当日会場で検温を行う。体温が37.5度以上の選手は大会事務局が用意した抗原検査キットによる抗原検査を受けなければならない。陽性判定の場合は大会出場を禁止する。
- ⑮ 抗原検査で陽性者がいる場合、必要な感染予防策（マスク着用・こまめな手指消毒など）をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1m程度以内）で15分以上接触があった場合に濃厚接触者に該当する。

参考：厚生労働省HP 新型コロナウイルスに関するQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#Q3-3

濃厚接触者に該当する場合、所定の期間は、不要不急の外出を控えるなど保健所の指示に従ってください。詳しくは保健所から伝えられる内容を確認すること。

感染予防について「3. 新型コロナウイルス感染症の予防法」 濃厚接触者について「問3 濃厚接触者とはどのような人でしょうか。濃厚接触者となった場合は、どんなことに注意すればよいでしょう」を参照

以上

一般社団法人 全日本空道連盟
理事長 高橋 英明